

第7回草津市総合計画審議会における
主な意見とその対応について

○は審議会での意見・対応
→は審議会後の事務局対応

| 頁 | 主な意見 | 対応 |
|------------------------------|---|--|
| 【(1) 第6次草津市総合計画 基本構想(案)について】 | | |
| P24 P25 | 特別委員会からも指摘があるように、「ひと・まち・ときをつなぐ」と「絆をつむぐ」は意味が重複しているように思う。表現を検討してはどうか。 | ○「ひと・まち・ときをつなぐ」ことにより生まれた「絆をつむぐ」ことで、誰からも愛されるふるさとになっていくという視点で整理をしております。 |
| P30 | 「学校教育」について、新型コロナウイルス感染症による一斉休校によってリモート授業などが行われていることから、IT教育に関する記載をしてはどうか。 | ○本市では、これまでからICTを活用した教育を推進しているところです。ICT教育などの内容は基本計画の中での記載いたします。 |
| P16 P17 | 感染症の世界的大流行に対する備えが必要とされている等の記載があるが、ここで挙げられた目的をどのように実現していくのか、個別計画とのつながりを記載するなど、今後、基本計画を策定していく中で、目的意識を挙げるだけではなく、体系性を持った記載がされていくとよいと思う。 | ○基本計画の中で、書きぶりを深めていく必要がある。 |
| P36 P37 | 「魅力あふれるまち」について、YMITアリーナ、今後整備されるプールの記載ができないか。 | ○基本計画・個別計画等での記載を検討いたします。 |
| P32 | 「コミュニティ」について、社会福祉協議会、コミュニティ事業団は、市の中間支援組織として、協定を結んでいるが、中間支援組織に関連する記載は必要ないのか。 | ○基本構想では具体的な名称は省略させていただいており、基本計画の中での記載を検討いたします。 |
| P32 | 「地域福祉」について、上段では「包括的相談支援体制の充実」、下段では「相談体制の充実」とあるが、それぞれどのような内容なのか。また、相談業務等の記載が中心となっているように思うが、市としての考え方を教えてほしい。 | ○まずは相談体制の強化が急務であると考えており、このような記載とさせていただいております。 ○上段は、地域共生社会に対応しているため、「包括的相談支援体制」としており、下段は生活に困窮している方に特段焦点を当てているため「相談体制」として思うが、「支援」の使い分けについては、再確認してはどうか。(肥塚会長) →「 <u>相談体制の充実</u> 」を「 <u>相談支援・体制の充実</u> 」に修正いたしました。 |
| P30 | 「SDGs」の視点を踏まえたまちづくりを進めますとあるが、P30以降、SDGsについての記載がないように思う。 | ○SDGsの視点を踏まえ、P30以降は記載しております。なお、基本計画の中では、各基本方針にSDGsのロゴを記載し、具体的な関係性を整理いたします。 |
| P29 | SDGsは2030年までの目標となっており、総合計画の途中でこの年限を迎えることになるが、どのように対応するのか。 | ○2030年以降どうなるかはわからないものの、目指すべき方向性は変わらないものと考えております。 |

| 頁 | 主な意見 | 対応 |
|------------|--|--|
| P29 | おそらく、第2期基本計画の途中あたりで、SDGsの次の目標が出てくるのではないかと思うので、その時に新しいものを盛り込んでいくとよいと思われる。 | ○そのときには改めて議論をすべきと考える。 |
| | 新型コロナウイルス感染症などにより、地域コミュニティの活動が停止することなどへの対策が必要ではないか。また、障害のある方へのサポート体制など、障害福祉のところで記載してもよいのではないか。 | ○現段階では、新型コロナウイルス感染症などの記載については、『社会情勢の変化の「安全・安心なまちづくりに向けて」』、『まちづくりの基本目標の「防災」』に記載しております。また、今回の新型コロナウイルス感染症などに対しては、将来ビジョンの「人々（ひと）のつながり」が重要であると考えております。 |
| P35 | 幹線道路は、どのような道路を示すのか。平野南笠線なども含まれるのか。 | ○幹線道路につきましては、都市の骨格となる道路であり、平野南笠線などの都市計画道路、浜街道などの主要地方道などを示しております。 |
| P35 | 「道路」について、第5次総合計画にはあった歩行者や自転車などの視点の記載がないのはなぜか。 | ○第5次総合計画では「道路・交通」と1つの分野であったところを、第6次総合計画では「道路」「交通」として分割しております。御意見の内容については、基本計画の中での記載を検討いたします。 |
| P27 | 草津川では、さくらフェスタなどのボランティア活動が行われているが、「みどり軸」に草津川が含まれないのはなぜか。 | ○将来のまちの構造については、市の地形的な特徴の大枠を示すものであり、現在、市が整備を進めている草津川跡地を、大きな特徴と捉え、みどり軸として示しております。草津川につきましては、現在策定中の都市計画マスタープランやみどりの基本計画の中で、位置付けを検討いたします。 |
| P34 | 「防災」について、「天井川の平地化の促進」とあるが、すでに草津川は河川改修されていると思われるが、今も書かれているのはなぜか。 | ○草津川については、現在でも、上流域が天井川となっており、管理者である県に対して平地化の要望を行っていることから、当該記載をしております。 |
| P34 | 「水害リスクの周知や水防意識の啓発」の部分で、集中豪雨やゲリラ豪雨といった文言があってもよいのではないか。 | ○御意見の内容については、基本計画の中での記載を検討いたします。 |
| P24 P25 | 将来ビジョンの「健幸創造都市」について、草津市は以前から「健幸都市」宣言を行っているが、新たに「創造」を追加しているのはなぜか。 | ○「健幸」は「生きがいもち、健やかで幸せであること」と定義させていただいており、今回、「健幸創造都市」と表現することで、今後の人口減少などへ挑戦していく姿勢を示しています。 |

| 頁 | 主な意見 | 対応 |
|------------------------------|--|--|
| P24 P25 | 下部のイラストで、「まち」の景色しかないため、「田園」「自然」などを表してはどうか。また、つながりを一本の糸と例えるなら、それらをみんなでより合わせることで、より太く大きなものにしていくことをイラスト等で表現してはどうか。 | ○製本段階で検討させていただきます。 |
| P16 P17 | 社会情勢の変化についての「安全・安心なまちづくりに向けて」のところで、新型コロナウイルス感染症について追記されているが、文章の展開を工夫したほうがよいのではないか。 | ○記載を検討させていただきます。 →御意見を踏まえ、記載を修正いたしました。 |
| | 新型コロナウイルス感染症の対策について、情報提供のあり方が課題としてあると思うので、行財政マネジメント、危機管理、防災などを絡めて、追記してもいいのではないか。 | ○御意見の内容については、基本計画の中での記載を検討いたします。 |
| P29 | まちづくりの基本目標について、SDGsの17の目標のうち、「11 住み続けられるまちづくりを」と「17 パートナリシップで目標を達成しよう」を合わせると協働の概念になると考えているが、ここで協働をSDGsと分けて、特出ししている理由を教えてください。 | ○協働については、第5次総合計画の計画期間中に、自治体基本条例・市民参加条例・協働のまちづくり条例の制定、また、まちづくり協議会の認定など、協働のまちづくりを推進してきたところでございます。第6次総合計画では、次のステップへ、協働をより進めていくため、このような整理とさせていただきます。 |
| 【(2) 第6次草津市総合計画 第1期基本計画について】 | | |
| ー | 自治体基本条例に「基本計画は財政推計を踏まえ事業によって構成される施策の体系を持つものとする」と示されているように、財政のありようが方針として入ると思われるため、「行財政マネジメント」を「組織運営の基本方針」として位置付け、また、「協働」を「市政運営の基本方針」として位置付けてはどうか。 | ○「協働」、「行財政マネジメント」については、地域経営の方針として整理させていただいていたところですが、具体的には分野として評価しており、第6次総合計画では、これまでの取扱いに合わせて整理したいと考えております。「協働」については、今までより前面に押し出すような形で整理し、基本構想の中でまちづくりのベースとして位置付けさせていただきます。 |
| ー | 「協働」と「行財政マネジメント」を分野別の施策に落とすと、「4 計画の評価について」の図における「基本方針」の部分が抜けてしまうのではないか。 | ○基本計画の構成について検討する必要があります。 |

| 頁 | 主な意見 | 対応 |
|-----------------------------------|--|---|
| ー | 施策の評価について、説明がわかりにくい。また、「評価をする」ということは「責任をとる」ということであると考えているが、その点をどう考えているか。 | ○「施策評価」については、施策ごとに毎年度実施するものとなっています。「責任」については、各評価の中でそれぞれの取組状況を的確に判断することで対応できると考えております。 |
| 【(3) リーディング・プロジェクトの検討について】 | | |
| ー | プロジェクト1「子どもが輝くまちづくりの推進」について、「子どもの生きる力を育む教育や地域への愛着を育む取組の推進」とあるが、地域共生社会の視点を踏まえ、子どもがいることによって社会が変わるといった表現ができないか。 | ○表現について検討させていただきます。 |
| ー | プロジェクト4「持続可能なまちづくりの推進」について、「地域特性を生かした地域再生の推進」とあるが、基本構想(案)P26 まちのゾーンでは「地域資源の活用等による地域再生の推進」となっている。この違いは何か。 | ○本市では、草津市版地域再生計画を策定しており、地域特性や地域資源を生かした地域再生の取組を推進していることから、当該記載をしておりますが、表現については整理させていただきます。 |
| ー | プロジェクト1について、「子どもが輝く」の部分で、子どもに限定せず、親の視点も意識した表現ができないか。また、プロジェクト3について、地域コミュニティについての記載をしてはどうか。 | ○表現について検討させていただきます。 |